

地区防災訓練企画担当者向けの
防災訓練
ポイントBOOK【別冊】

～令和7年度
地区防災訓練事例集～

令和8年2月
茅ヶ崎市防災対策課

地区訓練一覽

- 1 茅ヶ崎地区防災訓練
- 2 茅ヶ崎南地区防災訓練
- 3 海岸地区防災訓練
- 4 南湖地区防災訓練
- 5 湘南地区防災訓練
- 6 鶴嶺東地区防災訓練 **【中止】**
- 7 鶴嶺西地区防災訓練
- 8 松林地区防災訓練
- 9 小和田地区防災訓練
- 1 0 松浪地区防災訓練
- 1 1 浜須賀地区防災訓練
- 1 2 湘北地区防災訓練
- 1 3 小出地区防災訓練

1 茅ヶ崎地区防災訓練

茅ヶ崎地区防災フェスティバル

地区名：茅ヶ崎地区

日付：令和7年10月19日（日）

会場：梅田中学校

参加人数：182人

自主防災組織	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課員
164人	0人	3人	10人	5人

防災訓練の内容とポイント

今年度の防災訓練は防災フェスティバルとして開催し、防災フェスティバルを通じて、地域住民に災害が発災した際どのように、避難所が設営されるかを体験いただき普段からの備えの重要性を理解いただく事を目的として開催しました。また、パーテーション等の設営や給水タンクの組立て等を防災リーダーが参加することで、防災リーダーのスキルアップにつなげます。

そのほか、防災食の試食や避難所でのペットの受入について衛生課に協力いただきブースを設け、防災講話では、「災害時の避難所の様子」と「津波災害時の避難行動」について講話を実施しました。



防災訓練の感想

防災リーダーはパーテーション等の設営体験、参加者は実際にパーテーションの中に入り体験することで、避難所での生活が快適ではないことを知ることができたと思います。また、実際に避難所を開設する場合の防災リーダーの役割分担等事前の心構え等の必要性を再確認することが出来ました。

2 茅ヶ崎南地区防災訓練

2025年茅ヶ崎南地区防災フェス

地区名：茅ヶ崎南地区

日付：令和7年10月26日（日）

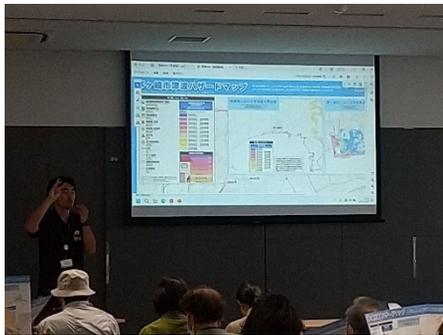
会場：高砂コミュニティセンター

参加人数：184人

自主防災組織	リーダー	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課員
138人	40人	2人	0人	0人	4人

防災訓練の内容とポイント

高砂コミセンの2階を各ブースに分け、VR/ARによる災害体験、美味しい防災食の調理法、防災ビンゴを実施、フリースペースでは防災グッズの展示をし、3階ホールでは応急処置・搬送訓練、茅ヶ崎市の津波避難対策を防災対策課に講義して頂き、心肺蘇生・AEDの使用法を消防団に指導して頂き、実際に起こり得る災害に対処できる力を習得すると共に防災に対する重要性を再考してもらう。



防災訓練の感想

今回の訓練の仕方は初めての試みでしたが、アンケートでは高評価が多かったです。当日は雨天ということもありましたが参加者数が少なく、今後の課題としては訓練内容の伝え方を考え、より多くの方に参加して頂くように考えています。

3 海岸地区防災訓練

避難所体験・防災イベント

地区名：海岸地区

日付：令和7年10月18日（土）

会場：東海岸小学校

参加人数：一般 165人

自主防災組織	リーダー	市職員	学校職員	配備職員	防災対策課員
86人	18人	2人	11人	6人	6人

防災訓練の内容とポイント

今年是人とペットの避難所受け入れを完全に分離して行いました。避難所開設訓練で重要な受け入れ態勢は年々向上しており、地道な訓練が重要であると考えます。初の体育館内での各自治会の取り組み発表は、海岸地区全体で防災に取り組むうえで重要な情報共有の手段であり、来年も継続予定です。加えて、来年は情報受伝達を駆使した取り組みも実施予定です。

ペット避難所管理リーダー1期生が、ぬいぐるみを使用した避難所の開設・受け入れまでを実施しましたが、ブラッシュアップが必要です。



防災訓練の感想

近隣で大掛かりな楽しい防災イベントが同時刻に開催されたこともあり、昨年に比べ参加人数が少なかった。

来年は防災訓練に参加する意義を明確に打ち出せる内容と、それをやり遂げた達成感を持てるような内容を考えていきたい。

4 南湖地区防災訓練

総合防災訓練

地区名：南湖地区

日付：令和7年11月1日（土）

会場：西浜小学校

参加人数：143人

自主防災組織（リーダー含）	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課
116人	14人	2人	5人	6人

防災訓練の内容とポイント

【訓練の目的】

地域が主体的に訓練を計画・実施することで、自主防災組織の強化、災害に強い街を作ることを目的とする。また、体験型の訓練を行うことで、個々の災害発生時の対応力の向上を図る。

【実施項目】

①起震車・煙体験



②ロープワーク



③消火器取り扱い



④搬送法



⑤応急手当



⑥救助・救出



⑦疑似避難所体験



防災訓練の感想

今回の訓練は、今後も地域が主体的に動いていけるよう、「ロープワーク」「搬送法」「救助・救出」の3項目は防災リーダー等の地域住民が参加者へレクチャーを行いました。事前に防災対策課と実施要領の確認を行うなど、事前の準備から力を入れました。実施した内容は、体験型のものを中心として7つの項目を実施しました。個々にできるものから、隣近所の協力が必要なものまで、災害時にできる行動は様々ですが、いざというときに行動に移せるよう、訓練等で定期的に確認しておくことが大切であると改めて感じたところです。

5 湘南地区防災訓練

避難所設置・防災資機材取扱い訓練

地区名：湘南地区

日付：令和7年10月12日（日）

会場：中島中学校

参加人数：93人

自主防災組織・リーダー	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課員
78人	0人	3人	7人	5人

防災訓練の内容とポイント

【目的】

- ①避難所が開設した際に防災リーダーが避難所の設置・運営の協力出来るよう受付及びレイアウトの確認をすること。
- ②防災倉庫の確認および避難所用資機材の取扱いについて理解をふかめること。

【実施内容】

- ①避難所の受付
- ②防災資機材の搬入・取扱い訓練
- ③非常用発電機についての説明



防災訓練の感想

避難所設置訓練ということで、思ったより多くの防災リーダーが参加して、訓練として成果が得られたと感じました。
一方で、今回は、防災リーダーがメインの訓練として実施したため、一般参加者が少なく、一般参加者へどのように啓発をすればよいのか、課題を感じます。

6 鶴嶺東地区防災訓練

地区合同の体験型訓練

地区名：鶴嶺東地区

日付：令和7年10月25日（土）

会場：鶴嶺中学校

参加人数：－

自主防災組織	リーダー	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課員
－	－	－	－	－	－

防災訓練の内容とポイント

次のとおり訓練を予定しておりましたが、雨天のため中止となりました。

内容：起震車による地震体験
濃煙避難体験
水消火器の操作訓練
防災クイズや物品・防災資機材の展示、
消防団車両展示
ロープ結び

防災訓練の感想

7 鶴嶺西地区防災訓練

風水害リスクを踏まえた総合防災訓練

地区名：鶴嶺西地区

日付：令和7年11月2日（日）

会場：今宿小学校

参加人数：220人

自主防災組織	リーダー	学校職員	配備職員	防災対策課員
185人	15人	1人	12人	7人

防災訓練の内容とポイント

昨年度計画していたものの大雨により実施できなかったため、内容をそのままに実施しました。鶴嶺西地区は風水害のリスクが特に高いため、風水害時の逃げ時や逃げ場所などを平時から検討する「マイ・タイムライン」の内容や、垂直避難の際に活用できる搬送法などを取り入れました。また避難所資機材（パーティションや簡易ベッドなど）の取扱いは、前回訓練に引き続き実施しました。



防災訓練の感想

ローテーションの時間管理に課題が残りました。各班に誘導係を配置するとともに、会場全体でのアナウンスをすることでスムーズに訓練を実施できるよう、来年度の検討に含めたいと思います。



8 松林地区防災訓練

避難所開設・受入訓練

地区名：松林地区

日付：令和7年11月30日（日）

会場：松林中学校

参加人数：101人

自主防災組織 リーダー	民生委員	学校職員	配備職員	防災対策課員	その他
61人	15人	2人	14人	4人	5人

防災訓練の内容とポイント

この4月から7回の防災会議を重ね、「松林中学校 避難所運営マニュアル」をベースにした松林地区独自の「防災訓練実施要領」を作成しました。
訓練内容を、開設（初動期）⇒運営（展開期1 step1「レイアウトづくり」までとし、ビブスの色別けによる5つの班がそれぞれの役割を実施しました
A班（レッド）：配備職員の補佐として安全確認～受付と名簿作成
B班（オレンジ）：避難者の誘導、受け入れ
C班（イエロー）：受付の設置、スペースづくり、情報受・伝達
避難者役班（ブルー）：今回は民生委員児童委員の方々にその重要な役割を担っていただきました
本部班（グリーン）：運営本部・学校職員・アマチュア無線（情報受・伝達訓練の指導）・看護師（看護レクチャー）
「レイアウトづくり」は全員で行いました。そして、「津波ハザードマップ」を基に「津波避難対策勉強会」の時間も設けることができました



防災訓練の感想

松林地区として初めてのテーマでしたので、とまどいや不慣れな点がみられましたが、参加者からは「やってよかった 次回も同じテーマで続けたい」という声が多くありました 今後は、「レイアウトづくり以降の避難所運営委員会設置」、「より具体的な要配慮者への対応」、「女性への配慮」そして「ペットへの対応」等の訓練にも挑戦していきたいと思えます

9 小和田地区防災訓練

広域避難場所避難訓練・給水訓練

地区名：小和田地区

日付：令和7年10月19日（日）

会場：第1部 各広域避難場所 第2部 東小和田公園

参加人数：305人

自主防災組織	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課員
300人	0人	1人	0人	4人

防災訓練の内容とポイント

昨年に引き続き『広域避難場所避難訓練』(防災リュックを背負って避難しよう)に加えて、第2部で「給水訓練」を東小和田公園で実施。

東小和田公園に設置されている、小和田地区で唯一の100t「飲料水兼用貯水槽」で、給水訓練の他、この貯水槽が震災時にどの様に使われるかを理解するための説明会と、火災時には消火に使用されるため、火を出さない為に、漏電防止の「感震ブレーカー」説明会や、水がない場合のトイレ対策説明会も併せて実施しました。

更に起震車震度7体験会があり、多くの方が震度7の凄さに驚いていました。



防災訓練の感想

広域避難場所避難訓練に加え、今回は給水訓練と貯水槽の役割に関する説明会をあわせて行いました。市の協力を得て、防災関連品の展示説明のほか、感震ブレーカーの説明会も合わせて実施、盛りだくさんの内容で大盛況でした。自治会の垣根を越えて協力し合って実施することができ、自治会という「見えないボーダー」のない防災・減災の未来が見えた訓練でした。

総合防災訓練

地区名：松浪地区

日付：令和7年11月23日（日）

会場：松浪小学校、松浪中学校

参加人数：553人

自主防災組織	消防団	学校職員	配備職員	防災対策課員
510人	16人	6人	13人	8人

防災訓練の内容とポイント

松浪地区は一戸建て密集地帯故火災が一番のリスクといわれる故、今年のテーマは火災への備えとし、シンプルに基本訓練をキッチリ行うことを考えました。結果、天候にも恵まれ、拠点長、各担当のリーダー、消防団、防災対策課の皆さんの協力により、タイムスケジュール通りに回すことが出来、参加者も効率的に各訓練に参加出来良かったと思います。

体育館内での地区マップ発表、そしてAED訓練も中々充実し、参加者も積極的に参加頂き、関心度も高かった様に感じました。今後も、基本訓練を充実させ、一年一回の訓練ですが、繰り返す事により万が一の時の一助になればと思います。



防災訓練の感想

個人的には、時間と労力が掛かりますが、安否確認に始まり、全員で会場に行く年一回の防災訓練は地域の連帯確認にお祭り等と並び一番かなと感じました。



1 1 浜須賀地区防災訓練

総合防災訓練

地区名：浜須賀地区

日付：令和7年11月29日（土）

会場：浜須賀小学校

参加人数：169人

自主防災組織	消防団	消防職員	学校職員	包括あさひ	配備職員	防災対策課職員
139人	4人	4人	2人	4人	7人	9人

防災訓練の内容とポイント

今年度は夜間に防災キャンプを実施するにあたり、午後の時間帯に実施しました。防災訓練の3年計画のうち、最終年となり、防災講話のブースでは令和7年8月に公表された新しい津波ハザードマップの内容も取り入れました。今年度も車椅子搬送訓練では地域包括支援センター等にご協力いただきました。



防災訓練の感想

当日の参加人数が予定よりも少なかったことから、各班で当初予定していた訓練種目よりも多く実施することができました。事前申込された方だけでなく、当日会場に直接来た方についても参加できるなど開催方法を工夫したいと思います。



1 2 湘北地区防災訓練

安否確認訓練・情報受伝達訓練

地区名：湘北地区

日付：令和7年11月2日（日）

会場：地区内各自治会

参加人数：5,727世帯（対象世帯8,084）

自主防災組織

5,727世帯

防災訓練の内容とポイント

従来の啓蒙的防災訓練から、より現実に近い訓練として地区全体で安否確認訓練及び情報伝達訓練を行い4年目となりました。訓練内容としては、各自治会で決めた◆無事の日印掲示◆避難行動要支援者への声掛け◆各自治会内の集計報告◆トランシーバーによる本部への情報伝達訓練等を行い、◆その他各自治会毎の追加訓練として（移動式ホース格納箱による放水訓練、水消火器訓練、防災関連講話等々）を行いました。地区全体の参加率としては、70.8%となり、更に訓練内容の充実と共に参加率向上を目指します。



防災訓練の感想

- ・安否確認訓練を各自治会単位で実施したため、訓練方法、集計項目等が異なり、課題が残った。
- ・実施時期は良かったが、連休中の中日に実施したため、参加率が思うように伸びなかった。

1 3 小出地区防災訓練

避難所開設・避難所体験訓練

地区名：小出地区

日付：令和7年11月9日（日）

会場：北陽中学校

参加人数：169人

自主防災組織	配備職員	学校職員	消防団	消防職員	防災対策課	その他
114人	10人	3人	31人	3人	5人	3人

防災訓練の内容とポイント

「雨天バージョン」にて実施。体育館に4つのブースを設置し、①ロープ取扱訓練、②防災ビデオ上映解説、③応急手当（心肺蘇生）訓練、④防災資機材（テント・ベッド・トイレ）体験訓練をローテーションしながら実施しました。盛りだくさんの内容でしたが、消防・防災関係者の時間配分を考慮した指導と、誘導員の適切な誘導でスムーズに実施できました。訓練終了後、炊き出し訓練の温かい豚汁を体育館内で美味しくいただき、住民同士の結束を深め、防災意識の向上を図ることができました。



防災訓練の感想

訓練会場から遠く、参加を住民の自主判断に任せた自治会もあった。今後は小出地区の2箇所の避難所である小出小学校と北陽中学校での総合防災訓練を軸とし、高齢者や避難に支援を要する住民を含め、できるだけ多くの住民が参加できる仕組みを構築したい。

防災訓練ポイントBOOK【別冊】
～令和7年度 地区防災訓練事例集～

発行日	令和8年2月
発行	茅ヶ崎市
編集	くらし安心部 防災対策課
電話	0467-81-7127（直通）
メール	bousai@city.chigasaki.kanagawa.jp